



第22回常任理事会

日時 平成20年2月12日(火) 18:33~21:10
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、柳山・山本・北野・三戸・小山・目黒・原田・藤井・藤原・深澤・西里・直江・橋本各常任理事、高木・中村各監事
 (事務局：島影事務局長ほか13名)

協議事項

第1号 平成19年度一般会計収支予算の補正に関する件 (深澤常任理事)

第2号 平成19年度収益事業特別会計収支予算の補正に関する件 (深澤常任理事)

〈決定〉

平成19年度の一般会計ならびに収益事業特別会計の補正予算(案)を承認決定。

※ 監査報告……内部監査:高木監事、外部監査:中村監事

【一般会計】

補正前予算額	1,136,051千円
補正後予算額	1,172,887千円
補正額	36,836千円

【収益事業特別会計】

補正前予算額	366,108千円
補正後予算額	365,108千円
補正額	△ 1,000千円

第3号 平成20年度基本的活動方針に関する件

(長瀬会長)

〈決定〉

平成20年度の事業項目を盛り込んだ基本的活動方針(案)につき検討、一部修正の上、全理事会に諮る。

第4号 平成20年度一般会計収支予算に関する件

(深澤常任理事)

第5号 平成20年度救急医療対策費特別会計収支予算に関する件 (深澤常任理事)

第6号 平成20年度社保対処費特別会計収支予算に関する件 (深澤常任理事)

第7号 平成20年度収益事業特別会計収支予算に関する件 (深澤常任理事)

する件 (深澤常任理事)

第8号 平成20年度会員共済特別会計収支予算に関する件 (深澤常任理事)

第9号 平成20年度育英資金特別会計収支予算に関する件 (深澤常任理事)

〈決定〉

平成20年度の一般会計ほか5特別会計の予算(案)を承認決定。

【一般会計】

平成20年度予算額	1,016,180千円
平成19年度予算額	1,172,887千円
増減額	△ 156,707千円

【救急医療対策費特別会計】

平成20年度予算額	197,442千円
平成19年度予算額	199,516千円
増減額	△ 2,074千円

【社保対処費特別会計】

平成20年度予算額	76,797千円
平成19年度予算額	67,516千円
増減額	9,281千円

【収益事業特別会計】

平成20年度予算額	358,369千円
平成19年度予算額	365,108千円
増減額	△ 6,739千円

【会員共済特別会計】

平成20年度予算額	40,921千円
平成19年度予算額	42,162千円
増減額	△ 1,241千円

【育英資金特別会計】

平成20年度予算額	7,424千円
平成19年度予算額	7,459千円
増減額	△ 35千円

第10号 第129回北海道医師会定時代議員会の開催に関する件 (深澤常任理事)

〈決定〉

第129回北海道医師会定時代議員会を3月16日(日)午前10時から北海道医師会館8階会議室において開催することで提出議題を決定。

第11号 平成20年北海道医師会定時総会の開催に関する件 (深澤常任理事)

〈決定〉

平成20年定時総会を3月16日(日)午後2時30分から北海道医師会館8階会議室において開催することで提出議題を決定。

第12号 平成19年度道医会費減免追加申請に関する件 (深澤常任理事)

〈決定〉

道医会費減免申請者2名(研修医)、免除額合計8,000円の免除を承認決定。

第13号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件 (小山常任理事)

〈決定〉

申請のあった日医生涯教育講座62件、道医認定生涯教育講座56件、合計118件を承認する。

第14号 特定健康診査に関わる集合契約ならびに代行入力業務に関する件（三戸常任理事）

〈決 定〉

集合契約参加希望を表明している郡市医師会の意向を体して北海道医師会と健保組合との集合契約を結ぶこと、またIT化が進んでいない医療機関等の限定的条件つきで電子データの作成と代行機関への代行提出業務を行うことを決定。

第15号 第6回全理事会の議案に関する件

（深澤常任理事）

〈決 定〉

2月16日（土）午後4時30分から北海道医師会館9階理事會室で開催する標記會議の提出議題を決定。

第16号 その他

(1) 北海道精神科救急医療システム連絡調整委員会「検討作業部会」委員の推薦に関する件

（深澤常任理事）

〈決 定〉

北野常任理事を推薦することと決定。

(2) 緊急臨時的医師派遣体制整備事業検討会に関する件（深澤常任理事）

〈決 定〉

11名の構成メンバーおよび担当部（医療政策部・医療関連事業部・救急医療部）を決定。

報告事項

1. 監査報告（内部：高木監事、外部：中村監事）
2. 第3回都道府県医師会長協議会[1月22日（火）]について（長瀬会長）

協議事項は12題あったが、「特定健診・特定保健指導について」と「診療行為に関連した死亡の死因究明制度等について」の質疑応答に非常に多くの時間が割かれた。日医執行部の答弁など詳細は日医ニュース（平成20年2月5日・第1114号）を参照願いたい。

3. 第2回郡市医師会特定健康診査・特定保健指導担当理事連絡協議会[1月26日（土）]について

（三戸常任理事）

昨年12月24日に日本医師会で行われた、都道府県医師会特定健診・特定保健指導担当理事連絡協議会の概要について報告したのち、北海道医師会としての集合契約についての考え方、電子媒体による報告が難しい健診実施機関への対応について説明を行い、郡市医師会に対し集合契約への協力をお願いした。

4. 総合情報システム推進委員会[1月29日（火）]について（藤原常任理事）

最初に長瀬会長から挨拶があり議事に入った。総合情報システムならびにテレビ会議システムのそれぞれの運用状況について報告した。テレビ会議システムについては、今後1年をかけて継続の有無を含め

て運用のあり方を情報広報部で検討することとなった。また、当委員会は今年度を以て終了する。

5. がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会[2月3日（日）]について

（三戸常任理事）

国立がんセンター中央病院麻酔科の服部政治先生ほか2名の方々に「オピオイド使用の基本と最前線」「最近の麻薬行政」「薬剤の基礎知識」等について講演をいただいた後、札幌医大麻酔科の並木教授を座長として質疑応答を行った。医師・薬剤師等155名の参加があった。

6. 母子保健対策推進委員会[2月11日（月）]について（三戸常任理事）

日本医師会母子保健検討委員会の模様につき報告をいただいた後、妊婦健診の現状等、今後の検討課題について検討を行った。

7. 学校心臓検診推進委員会[2月11日（月）]について（三戸常任理事）

平成19年度の実施結果ならびに平成20年度の実施予定について、北海道学校保健会より報告を受けた。

8. 北海道保健医療福祉計画・北海道医療計画に係る地域意見交換会について

（宮本・三宅副会長、直江常任理事）

北海道は、1月25日（金）から2月4日（月）の期間に札幌・帯広・釧路・旭川・網走・函館の6市において、道民と意見交換を行った。当会から北海道総合保健医療協議会計画特別委員会委員である三宅副会長、宮本副会長、直江常任理事が分担して出席し、意見を述べた。

9. 日医各委員会報告

(1) 定款・諸規程検討委員会[1月23日（水）]について（宮本副会長）

報告案の内容、(1) 公益法人制度改革への対応、(2) 代議員会、(3) 表彰規定の見直し、(4) 役員選挙のあり方、(5) 常任理事の定数、(6) 会員異動手続きの簡素化について最終検討を行った。

(2) 環境保健委員会[1月30日（水）]について（橋本常任理事）

日医会長諮問に対する答申案についての協議を行った。

(3) 学校保健委員会[1月31日（木）]について（三戸常任理事）

文科省から学校保健における現状と今後の方向性について報告を受けたあと、日医会長諮問に対する答申書内容について協議を行った。

(4) 健康スポーツ医学委員会[2月7日（木）]について（畑副会長）

諮問事項「地域における健康スポーツ医活動の推進—特定健診・保健指導における健康スポーツ医の役割を中心として—」に対する答申書の最終取りまとめを行った。

10. 外部各委員会報告

(1) 地域産業保健センター北海道連絡協議会[1月22日(火)]について(畑副会長)

北海道労働局・武田労働基準部長、道医・畑副会長、北海道産業保健推進センター・三宅所長の3氏から挨拶の後、議事に入った。地域産業保健センター事業の公募、運営等につき労働局より詳細な説明があり、その後、意見交換を行った。

(2) 北海道地域ケア整備・療養病床再編検討委員会[1月25日(金)]について(原田常任理事)

事務局より、療養病床転換意向アンケート調査および北海道の地域特性などを踏まえ、昨年12月、北海道の地域特性などから医療・介護サービスの受け皿づくりの推進ほか3項目について国へ要望したこと、また、パブリックコメント募集で個人・団体あわせて11の提出者から36件の意見があり、それにより構想案の一部を文言変更しているとの報告があった。最終構想案の審議においては、24年度当初の医療療養病床数18,737床は変えないものの、転換先と転換時期については、21圏域ごとを精査した結果、若干数字を変更することとした。同案についてはその後、去る2月6日、道議会の承認を経ており、後日、北海道地域ケア体制整備構想として国へ最終報告することになる。なお、療養病床転換推進計画については、医療・介護報酬などが明確になったあと、21年度からの第4期高齢者保健福祉計画策定とあわせ、再度転換意向のアンケート調査を行うこととしている。

11. 各部報告

(1) 2008年北海道洞爺湖サミット現地医療対策準備会合[1月25日(金)]について

(三戸常任理事)

洞爺湖サミットにおける救急医療・災害医療対策に係る全体像について、意見交換を行った。

第6回全理事会

日時 平成20年2月16日(土) 16:33~18:41
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、榊山・山本・三戸・目黒・藤井・藤原・深澤・西里・直江・橋本各常任理事、上埜・上西・山・城・沖・鈴木・増田・吉田各理事、高木・水元・中村各監事、飯塚顧問、伊藤議長、塩野副議長、樋口日医裁定委員、山光日医代議員。
(事務局：島影事務局長ほか13名)

報告事項

1. 監査報告(内部：水元監事、外部：中村監事)

2. 第3回都道府県医師会長協議会[1月22日(火)]について(長瀬会長)

協議事項は12題あった。中でも「特定健診・特定保健指導」と「診療行為に関連した死亡の死因究明制度等」についての議論が活発に行われた。日医執行部の答弁など詳細は日医ニュース(平成20年2月5日・第1114号)を参照願いたい。

3. 北海道保健医療福祉計画、北海道医療計画、北海道医療費適正化計画について(宮本・畑副会長)

宮本副会長から保健医療福祉計画・医療計画、畑副会長から医療費適正化計画の各素案について、概要を説明した。

4. 日医各委員会報告

(1) 有床診療所に関する検討委員会[1月16日(水)]について(西池理事)

(配付資料により報告)

(2) 母子保健検討委員会[1月17日(木)]について(城理事)

小児保健法検討委員会(プロジェクト)答申が、師研也委員長より報告された。また、厚労省より平成20年度の「母子保健対策関係予算」ならびに「保育対策関係予算」についての説明を受けた。

5. その他

(1) 療養病床再編に伴う地域の医療・介護体制の構築を求める意見書について(古屋理事)

(配付資料により報告)

(2) 北見赤十字病院の内科(消化器科・循環器科を除く)診療体制の閉鎖・縮小について(古屋理事)

(配付資料により報告)

承認事項

1. 外部各委員会等委員の推薦について

(深澤常任理事)

昨年12月開催の第5回全理事会以降に推薦した3件につき報告、承認。

協議事項

第1号 平成19年度一般会計収支予算の補正に関する件(深澤常任理事)

第2号 平成19年度収益事業特別会計収支予算の補正に関する件(深澤常任理事)

〈決定〉

平成19年度の一般会計ならびに収益事業特別会計の補正予算(案)を承認決定。

※ 監査報告……内部監査：高木監事、外部監査：中村監事

【一般会計】

補正前予算額 1,136,051千円

補正後予算額 1,172,887千円

補正額 36,836千円

【収益事業特別会計】

補正前予算額 366,108千円

補正後予算額 365,108千円

補正額 △ 1,000千円

第3号 平成20年度基本的活動方針に関する件

(三宅副会長)

〈決定〉

平成20年度の事業項目を盛り込んだ基本的活動方針(案)を決定。

第4号 平成20年度一般会計収支予算に関する件

(深澤常任理事)

第5号 平成20年度救急医療対策費特別会計収支予算に関する件(深澤常任理事)

第6号 平成20年度社保対処費特別会計収支予算に関する件(深澤常任理事)

第7号 平成20年度収益事業特別会計収支予算に関する件(深澤常任理事)

第8号 平成20年度会員共済特別会計収支予算に関する件(深澤常任理事)

第9号 平成20年度育英資金特別会計収支予算に関する件(深澤常任理事)

〈決定〉

平成20年度の一般会計ほか5特別会計の予算(案)を承認決定。

【一般会計】

平成20年度予算額 1,016,180千円

平成19年度予算額 1,172,887千円

増減額 △ 156,707千円

【救急医療対策費特別会計】

平成20年度予算額 197,442千円

平成19年度予算額 199,516千円

増減額 △ 2,074千円

【社保対処費特別会計】

平成20年度予算額 76,797千円

平成19年度予算額 67,516千円

増減額 9,281千円

【収益事業特別会計】

平成20年度予算額 358,369千円

平成19年度予算額 365,108千円

増減額 △ 6,739千円

【会員共済特別会計】

平成20年度予算額 40,921千円

平成19年度予算額 42,162千円

増減額 △ 1,241千円

【育英資金特別会計】

平成20年度予算額 7,424千円

平成19年度予算額 7,459千円

増減額 △ 35千円

第10号 第129回北海道医師会定時代議員会の開催に関する件(深澤常任理事)

〈決定〉

第129回北海道医師会定時代議員会を3月16日(日)午前10時から北海道医師会館8階会議室において開催することと提出議題を決定。なお、長瀬会長より、

代表質問、一般質問に対し執行部として適切な回答をしたいので、質問の要旨が分かるものを前日まで提示してほしい旨発言された。

第11号 平成20年北海道医師会定時総会の開催に関する件(深澤常任理事)

〈決定〉

平成20年定時総会を3月16日(日)午後2時30分から北海道医師会館8階会議室において開催することと提出議題を決定。

第12号 平成19年度道医会費減免追加申請に関する件(深澤常任理事)

〈決定〉

道医会費減免申請者2名(研修医)、免除額合計8,000円の免除を承認決定。

第13号 特定健康診査に関わる集合契約ならびに代行入力業務に関する件(三戸常任理事)

〈決定〉

集合契約参加希望を表明している43郡市医師会の意向を体して北海道医師会と健保組合との集合契約を結ぶこと、またIT化が進んでいない医療機関等の限定的条件つきで電子データの作成と代行機関への代行提出業務を行うことを決定。

第14号 理事提案事項

上埜理事より2月1日付「北海道医療新聞」に掲載された記事に触れ、医療法の一部改正で昨年1月1日から診療所の一般病床が基準病床制度の対象となったのを受け、道は病院開設等に係る事務処理要領の一部を改正し、同一の二次医療圏内で同一医療法人等が病床を移動する場合に診療所を追加したと述べ、このことに伴い、今後これを利用して、医療計画を形骸化させるような動きが出てくる可能性があることを指摘。それに対し直江常任理事・宮本副会長から答弁がなされ、今後の医療計画特別委員会でのこの問題を話題にしていくこと、また同時に医療審議会でもそのルール作りを諮っていかねばならない旨述べられた。

第15号 その他

上埜理事より、札幌市医師会創基百年記念式典が本年5月25日(日)に挙行される旨発言があった。

道総医協関連事項(三宅副会長)

1. 開催状況について

- (1) 12月18日(火) 第4回計画特別委員会
- (2) 12月19日(水) 第3回救急医療専門委員会
- (3) 1月17日(木) 地域医療専門委員会
第1回看護対策小委員会
- (4) 2月13日(水) 地域医療専門委員会
第1回周産期医療小委員会

第23回常任理事会

日時 平成20年2月26日（火）18：03～20：21
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、柳山・山本・北野・渡辺・三戸・小山・目黒・原田・藤井・藤原・深澤・西里・直江・橋本各常任理事、高木監事
(事務局：島影事務局長ほか12名)

協議事項

第1号 母体保護法指定医師の指定に関する件 (深澤常任理事)

〈決定〉

2月20日の審査委員会で指定「可」とされた新規1名の申請者を指定医師とする。

第2号 北海道肝炎対策協議会委員の推薦に関する件 (深澤常任理事)

〈決定〉

畑副会長を推薦する。

第3号 日本医師会認定産業医の認定申請に関する件 (小山常任理事)

〈決定〉

認定要件を満たした更新174名の申請を承認し、日医へ推薦する。

第4号 日本医師会認定健康スポーツ医の認定申請に関する件 (小山常任理事)

〈決定〉

認定要件を満たした更新23名の申請を承認し、日医へ推薦する。

第5号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件 (渡辺常任理事)

〈決定〉

申請のあった日医生涯教育講座24件、道医認定生涯教育講座29件、合計53件を承認する。

第6号 北海道医師会職制の一部改正と職員人事に関する件 (深澤常任理事)

〈決定〉

二次長制から三次長制へ変更し、事業課を5課体制から4課体制へ再編する職制の一部改正と職員人事異動を承認、本年4月1日から施行する。

第7号 個人情報保護管理体制の一部改正に関する件 (深澤常任理事)

〈決定〉

職員の人事異動に伴い、個人情報管理体制の一部変更を承認、本年4月1日から施行する。

第8号 その他

(1) 新しい医療安全調査委員会設置に関するアンケート調査に関する件 (山本常任理事)

〈決定〉

日医から協力依頼のあったアンケート調査に対し、北海道医師会の意見を2月29日までに提出する。

(2) 3月行事予定に関する件（事務局）

〈決定〉

提案どおり承認決定。

報告事項

1. 北海道小児救急地域医師研修会について

(目黒常任理事)

平成17年度からの継続事業として、北海道より委託を受け、北海道小児科医会の協力のもと二次病院に勤務する小児科医の負担軽減を目的に内科医等を対象とした研修会を道内8地域で開催した。研修会の受講者は、延べ328名であり、受講した医師には北海道知事、北海道医師会長、北海道小児科医会長の三者連名で修了証を交付した。

2. 第3回全国メディカルコントロール協議会連絡会 [1月25日（金）]について (目黒常任理事)

メディカルコントロール協議会の地域をまたぐ場合のメディカルコントロール体制およびメディカルコントロール協議会等の法的役割について、パネルディスカッションを行った。

3. 道内急病センター（診療所）連絡会[1月26日（土）] について (目黒常任理事)

道内急病センターから運営状況等について報告があり、その後、各急病センターの抱える運営上の諸問題や課題等について協議した。

4. 救急医療研修会[1月27日（日）]について

(目黒常任理事)

東京都医師会救急委員会・石原哲委員長を講師に迎え、「災害医療とDMAT」をテーマに講演いただいた。なお、テレビ会議システムを利用し道内8会場に中継を行い、医師、消防関係者等、合計192名が出席した。

5. 救急医療対策部会全体会議[1月27日（日）]について (目黒常任理事)

北海道小児救急地域医師研修事業、ICLS研修会等について報告を行った。その後、「救急医療体制の現状と課題」について、小職より話題提供を行い、各地域で抱えている問題点等を報告いただき、意見交換を行った。

6. 労災・自賠責保険医療等改善対策委員会[2月3日（日）]について (目黒常任理事)

委員長に小職、副委員長に景浦・豊田委員を選出した。まず労災保険に関しては、日医労災・自賠責委員会答申をもとに「労災独自の診療報酬体系の構築」「労災二次健診制度と特定健診・特定保健指導との関係」「労災かくし」等について協議を行った。続いて、来年度から開始されるRICによる「労災診療費審査点検事務の補助」について説明し協議した。自賠責保険に関しては、「自賠責保険・任意自動車保険と健保との関係」に触れ、健保強要の問題点等を協議した。さらに本年度、医療機関と損保会社との間で起きたトラブル状況について報告し、自賠責保険医療費請求に係る諸問題について、意見交換を

行った。

7. 労災四者懇談会[2月8日(金)]について

(目黒常任理事)

今年度は、当会が当番幹事となり開催した。当会・長瀬会長、北海道労働局労働基準部・武田部長、北海道労災保険指定病院協会・景浦会長、労災保険情報センター北海道事務所・三浦所長よりそれぞれ挨拶の後、懇談に移った。北海道労働局より「最近の労災補償の状況」について、小職より、「日本医師会労災・自賠責委員会答申(労災関係)」についてそれぞれ説明を行い、そのあと意見交換を行った。

8. 第13回日本集団災害医学学会[2月10日(日)~11日(月)・つくば市]について(目黒常任理事)

帝京平成大学現代ライフ学部・大橋教良教授が会長となり開催された。特別講演、教育講演、シンポジウム、ワークショップなどが行われ、約1,000名の参加があった。次期開催は平成21年2月13日(金)~14日(土)神戸市において開催の予定である。

9. 都道府県医師会廃棄物担当理事連絡協議会[2月13日(水)]について(直江常任理事)

家庭から排出される一般医療廃棄物についての調査結果と、それに係る協議が行われた。従来、家庭から出る一般廃棄物は市町村の責任において処理されるものであるが、家庭から排出される医療廃棄物の処理については、現行の法制度では対応が難しくなっている。全国的にもばらばらな対応であり、郡市医師会が各市町村と十分話し合いをしている所はその処理も上手に行われていることが報告された。

10. 第5回指導医のための教育ワークショップ[2月16日(土)~17日(日)]について(渡辺常任理事)

本年度は北海道との共催により実施した。札幌大・山本教授をチーフタスクフォースに、また、5名のタスクフォースにより、2月16日、17日の二日間、一泊二日で行われ、参加者は39名であった。例年どおり「講義、グループ作業、発表討論」という形で17時間20分にわたり行われ、高い研修効果が確認された。終わりに受講者を代表して最年長者へ終了証を授与され、その後、長瀬会長より挨拶が行われ終了した。

11. 日医医療情報システム協議会[2月16日(土)~17日(日)]について(藤原常任理事)

標記の協議会が「国民医療とIT~国民を守る!安心・安全・最善の医療を目指して~」をメインテーマに日医会館で開催された。1日目は、当会全理事会のため、夜に上京し、2日目に畑副会長と小職が出席してきた。特別講演2題、講演1題、3つのシンポジウムおよび事務局情報担当者セッションが行われた。450名(講師等関係者含む)の参加があり、非常に活発な意見交換がなされた。

12. 発達障がい児(者)支援を考える道民フォーラム[2月17日(日)]について(三戸常任理事)

北海道の主催、北海道教育委員会の共催により、

札幌市教育文化会館大ホールにて開催された。参加者は418名。開会にあたり、高橋知事から挨拶が行われた。続いて、北海道における発達障がい児(者)支援のあり方について、各検討ワーキンググループより報告が行われた。小職からは、医療機関確保グループの報告として、発達障がいや知的障がいの方たちが、実際にその診療を行っている医療機関にアクセスできるようにするために、その医療状況を調査する目的で、昨年10月、小児科、精神科、心療内科を有する病院診療所を対象に実施したアンケート調査の結果について報告を行った。その後、行政報告、フロアとの意見交換があり閉会した。

13. 第14回日医認定健康スポーツ医制度再研修会[2月23日(土)]について(目黒常任理事)

畑副会長の挨拶のあと研修に入った。北光記念クリニック・佐久間一郎所長より「運動中の循環器疾患のアクシデントとAED」、畑副会長より「特定健診・保健指導における日医認定健康スポーツ医のかかわり」と題して、それぞれ講演された。受講者は61名。

14. 第2回健康スポーツ医学推進委員会[2月23日(土)]について(目黒常任理事)

平成19年度の「北海道老人クラブ連合会が行う指導者養成講習会」について報告があり、その後、意見交換を含めた懇談を行った。

15. 日医学校医講習会[2月23日(土)]について(三戸常任理事)

「最近の学校教育行政」ほか2題の講演とシンポジウムが行われた。シンポジウムでは、小児アレルギー科・皮膚科・眼科・耳鼻咽喉科のそれぞれのアレルギー疾患についての対応等が報告された。

16. 日医母子保健講習会[2月24日(日)]について(三戸常任理事)

当日は悪天候の中、「医学・医療の品格」「子どもの脳を守る」の2題の講演と、「母子の心の健康を求めて」をテーマにシンポジウムが何とか無事に終了した。

17. 医事紛争処理委員会郡市委員連絡協議会[2月24日(日)]について(山本常任理事)

都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会や北海道医師会医事紛争事案取扱状況について報告の後、当会顧問弁護士である矢吹徹雄先生より「最近の判例から見た医療紛争」と題し、実際に会員の弁護を担当している立場で様々な判例ごとに解説があり、最後に郡市医師会からの質疑を行い終了した。

18. 日医各委員会報告

(1) 生涯教育推進委員会[2月7日(木)]について(渡辺常任理事)

諮問事項に対する生涯教育推進委員会報告書(案)について種々意見交換を行った。日医生涯教育の柱のひとつとして、「総合医」を検討してきたが、名称については議論の末、暫定的に

「総合診療医」とすることとした。また、資格認定についても、どのように行っていくか意見がまとまらず、改めて、日医としての方針を確認することになり、同報告書については次回以降に持ち越しとなった。

(2) 勤務医委員会[2月15日(金)]について
(直江常任理事)

会長諮問の「第5次医療法改正における勤務医の課題」について答申案がまとまった。また、平成20年度全国医師会勤務医部会連絡協議会のあり方等について協議した。本協議会は本年11月22日(土)千葉県で開催の予定である。

(3) がん対策推進委員会がん検診小委員会[2月21日(木)]について(畑副会長)

がん検診のあり方について問題点を整理した。これを4月以降の本委員会で検討していくこととした。

19. 外部各委員会報告

(1) 北海道地域リハビリテーション協議会[2月13日(水)]について(原田常任理事)

現在センター未整備の3圏域(南松山、留萌、遠紋)の状況等について説明があり、次年度に南松山圏域にて整備の可能性ありとの報告がなされた。また、併せて「札幌市脳卒中地域連携パスネット協議会」の設立に関しての情報提供がなされた。

(2) 北海道感染症危機管理対策協議会[2月15日(金)]について(三戸常任理事)

協議に先立ち、会長および副会長の選任が行われ、会長には札幌医科大学の島本先生、副会長には北大の浅香先生と旭川医科大学の松野先生が就任された。その後、感染症の発生状況、麻しん対策、今冬のインフルエンザ発生状況等について説明・報告を受けた後、意見交換を行った。また、道より「感染症対策マニュアル(改訂版)」を作成中で、3月末~4月初めに完成する見込みであるとの報告を受けた。

(3) 北海道病院事業に関する次期計画検討協議会[2月18日(月)]について(宮本副会長)

パブリックコメント等の結果と「北海道病院事業改革プラン(仮称)(案)」について報告があり、それに対して検討した。

20. 各部報告

(1) 第9回医療政策部担当理事会[2月16日(土)]について(直江常任理事)

第129回北海道医師会定時代議員会の議案第11号「当面の医療政策に関する件」について、説明項目、担当役員、時間配分など検討した。北海道保健福祉部からは、「北海道保健医療福祉計画」「北海道医療計画」「北海道医療費適正化計画」「医師確保対策の状況」について説明がなされ、意見交換した。

道総医協関連事項

1. 看護対策小委員会[2月18日(月)]について
(北野常任理事)

北海道医療計画に盛り込む「看護職員の確保」について、協議を行った。

2. 第5回計画特別委員会[2月19日(火)]について
(宮本副会長)

20年度から始まる北海道保健医療福祉計画(仮称)、北海道医療計画(仮称)の原案について協議した。札幌市ほか5市で開催された意見交換会、道民から寄せられたパブリックコメント等を踏まえ、一部修正した。また、4疾病5事業の医療連携体制について、4疾病のうち地域がん診療拠点病院、脳卒中の急性期・回復期医療、急性期心筋梗塞の急性期医療について、5事業のうち産科または婦人科、小児科または小児外科について、医療機関名を明らかにした。2計画ともに道総医協、道議会、医療審議会などの承認を経て3月末に決定する見込みである。

3. 地域医療専門委員会[2月21日(木)]について
(宮本副会長)

北海道医療計画(在宅医療の提供体制)に対する意見について報告があり、その後、在宅医療に関するアンケート調査の実施および地方・地域センター病院の整備方針について、協議を行った。

4. 救急医療情報システム検討ワーキンググループ会議[2月25日(月)]について(三戸常任理事)

平成18年度ワーキンググループ意見、システムの運営状況、洞爺湖サミット開催時における本システムの活用について報告があり、その後、意見交換を行った。